

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2019-205579(P2019-205579A)

【公開日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-049

【出願番号】特願2018-101918(P2018-101918)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

演出受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において演出受付がなされると、該演出受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と、

前記受付演出が発生する場合、演出受付が許容される状態になったこと、または演出受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音を可聴出力可能な許容音出力手段とを備え、

前記受付演出として、少なくとも第1受付演出及び第2受付演出が用意されており、

前記第1受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第1受付演出に対応する受付前演出として第1の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第2受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第2受付演出に対応する受付前演出として第2の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第2の受付前演出表示は、前記第1の受付前演出表示よりも長い時間にわたって実行可能とされており、

前記第2の受付前演出表示が実行される場合は、該第2の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力され、その後、該前兆演出音とは異なる前記受付許容音が可聴出力されるが、前記第1の受付前演出表示が実行される場合は、該第1の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力されることなく前記受付許容音が可聴出力されるようになっており、

さらに、

前記第1受付演出は、特定BGMが可聴出力されているなかで発生するが、前記第2受付演出は、前記特定BGMが非可聴の状態にされているなかで発生可能であり、

さらに、

前記許容音出力手段は、前記受付許容音を第1態様で可聴出力する場合と第2態様で可聴出力する場合とが少なくともあり、

前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第1態様で可聴出力されると、当該受

付演出で演出受付がなされなかった場合であっても該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が必ず実行されるが、前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第2態様で可聴出力されると、該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が実行される場合と同じ受付後演出が実行されない場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

演出受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において演出受付がなされると、該演出受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と、

前記受付演出が発生する場合、演出受付が許容される状態になったこと、または演出受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音を可聴出力可能な許容音出力手段とを備え、

前記受付演出として、少なくとも第1受付演出及び第2受付演出が用意されており、

前記第1受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第1受付演出に対応する受付前演出として第1の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第2受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第2受付演出に対応する受付前演出として第2の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第2の受付前演出表示は、前記第1の受付前演出表示よりも長い時間にわたって実行可能とされており、

前記第2の受付前演出表示が実行される場合は、該第2の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力され、その後、該前兆演出音とは異なる前記受付許容音が可聴出力されるが、前記第1の受付前演出表示が実行される場合は、該第1の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力されることなく前記受付許容音が可聴出力されるようになっており、

さらに、

前記第1受付演出は、特定BGMが可聴出力されているなかで発生するが、前記第2受付演出は、前記特定BGMが非可聴の状態にされているなかで発生可能であり、

さらに、

前記許容音出力手段は、前記受付許容音を第1態様で可聴出力する場合と第2態様で可聴出力する場合とが少なくともあり、

前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第1態様で可聴出力されると、当該受付演出で演出受付がなされなかった場合であっても該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が必ず実行されるが、前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第2態様で可聴出力されると、該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が実行される場合と同じ受付後演出が実行されない場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】